

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-27535

(43)公開日 平成6年(1994)2月4日

(51)Int.Cl.
G 0 3 B 21/82

識別記号
7316-2K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数5(全5頁)

(21)出願番号 特願平4-202964

(71)出願人 000001443

(22)出願日 平成4年(1992)7月6日

カシオ計算機株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

(72)発明者 藤原 実

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ
計算機株式会社羽村技術センター内

(54)【発明の名称】 透過式スクリーンおよび背面投影型表示装置

(57)【要約】

【目的】 表示体が表示する画像を投影レンズにより拡大して投影表示する透過式スクリーンにおいて、入射光と出射光の角度差の大きなものに対して、光の減衰を少なくし、光軸に対する角度を有利に変えられるようにする。

【構成】 透過式スクリーン20における投影レンズからの光1が仰角θ1を持って入射される入射面に、入射光1を入射する面22と、その入射した光2が直進して当たる面23との交わりによる頂角αを持った反射型プリズム21を形成する。そして、この反射型プリズム21の入射した光2が直進して当たる面23を、出射面25側に光を反射3させる反射面24として形成する。この反射面24は、臨界角を持たせたり、反射材を蒸着してなる薄膜により形成する。さらに、反射型プリズム21の集合を、スクリーン延長平面に対して投影レンズの焦点からの垂線が交わる正射影点を中心とする扇状に形成する。

